

令和8年度 上津中学校 具体的実践目標

- (1) 学校教育目標の具現化をめざした実践をする。
 - ・「指導の重点」、「夢ある教育 きらめきプラン」をふまえた学校経営
 - ・教職員の共通理解 ・教職員の協働体制の構築
- (2) 仲間とともに助け合う学級づくりを展開する。
 - ・楽しく、居心地のよい学級
 - ・自他を尊重し、よりよい人間関係を主体的に形成できる集団づくり
- (3) 確かな学力を育むために、教科指導を工夫し、充実させる。
 - ・主体的に取り組ませるための授業の工夫 ・タブレットの効果的な活用
 - ・各教科等における対話活動の充実・パターン化
- (4) 社会的自立に必要な能力や態度を育てる「キャリア教育」を推進する。
 - ・教育活動全体を通してのキャリア教育の推進
 - ・一人一人に寄り添った進路指導
- (5) 心に響く道徳教育を推進し、人権尊重の心を育てる。
 - ・より心に響く授業づくりをめざし、講師を招聘した研究体制の確立
 - ・人権感覚の高い集団づくり
- (6) 心身の調和のとれた発達を目指す体験活動を充実させる。
 - ・上津トキメキ講座(ひまわり栽培)、福祉施設訪問等の体験活動の充実
 - ・達成感や自己有用感を高める学習活動の工夫
- (7) 生徒の内面理解にもとづく生徒指導の充実をめざす。
 - ・生徒にしっかり向き合い生徒理解を深め、寄り添う指導を展開
 - ・チームとしての指導体制の構築
- (8) 一人一人の多様な教育的ニーズに応じた特別支援教育を充実させる。
 - ・実態把握ときめ細かな教育的支援の推進
 - ・個のニーズに応じた合理的配慮の提供
- (9) 今日的課題に対応した教育を推進する。
 - ・情報モラルの育成、福祉教育・環境教育(SDGs)の推進
 - ・不登校傾向の生徒や特性のある生徒に対する教育支援の提供
- (10) 「働き方改革」を具体的に実践しようとする風土を育む。
 - ・勤務時間適正化のさらなる推進
 - ・年次休暇の計画的取得の推進